

令和6年度の当初予算は、「さらに前へ！住みたいまち菊川市!!」の実現に向けて、「第2次菊川市総合計画」および「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に進める予算として「未来夢づくり予算」を編成しました。

問い合わせ 財政課財政係(☎35-0922)

令和6年度当初予算額

242億4,200万円

令和6年度 予算大綱

未来夢づくり予算～感謝とともに、未来への一歩～

前年度比36億7,100万円(17.8%)の増

当初予算の基本方針

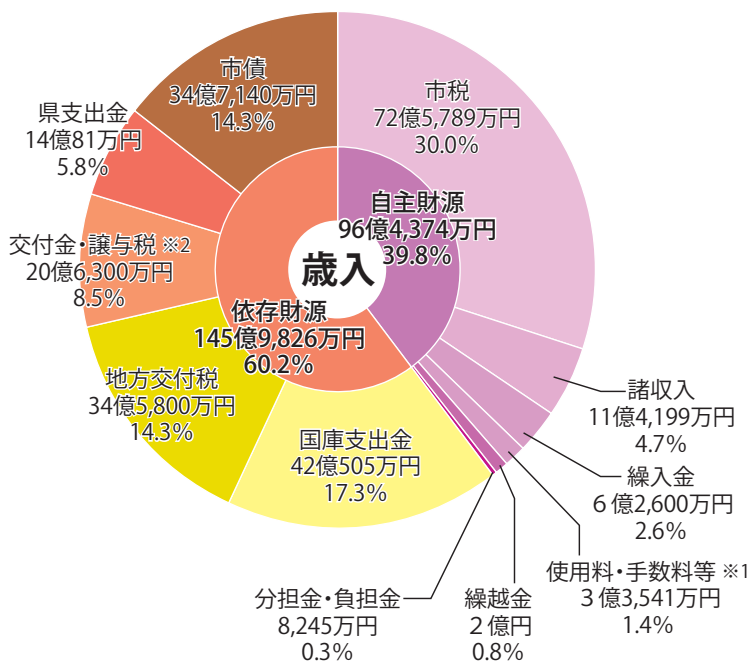
令和6年度当初予算は、多くの人たちのためまぬ努力によって成長を積み重ねてきた本市のポテンシャルを最大限に引き出し、磨き上げ、市民の「夢」を未来へつなげていくため、第2次菊川市総合計画の着実な推進を基本として、「安全安心がひろがるまち」「未来を切り拓くまち」「幸せを生み出すまち」の3つの基本方針に基づき予算編成をしました。

一般会計／歳入

歳入予算に占める自主財源は、96億4,374万円(構成比39.8%)で、前年度よりおよそ1,581万円(0.2%)の増額となっています。一方、依存財源は、145億9,826万円(構成比60.2%)で、前年度よりおよそ36億5,519万円(33.4%)の増額となっています。自主財源のうち、主な財源である市税は、定額減税制度の影響による市民税の減収などにより、前年度よりおよそ2億9,300万円(3.9%)の減額としています。また、寄附金は、ふるさと納税寄附金の増収を見込み、前年度よりおよそ1,200万円(7.5%)の増額としています。繰入金は、まちづくり基金、地域振興等基金等の取崩額の増額を見込み、前年度よりおよそ1億8,800万円(42.8%)の増額としています。

依存財源のうち、最も金額が大きい国庫支出金は、菊川駅南北自由通路整備事業や制度改正により対象者等が拡充される児童手当の増に伴う国庫補助金の計上により、前年度よりおよそ11億6,700万円(38.4%)の増額としています。また、地方交付税は、普通交付税において市税等の減収による基準財政収入額の減少を見込む

一般会計歳入グラフ



会計別の予算額

会計名	予算額	前年増減
1 一般会計	242億4,200万円	17.8%
2 特別会計	87億9,409万円	0.1%
国民健康保険特別会計	42億5,625万円	▲3.8%
後期高齢者医療特別会計	6億4,483万円	13.9%
介護保険特別会計	38億9,301万円	2.5%
土地取得特別会計	1千円	0.0%
3 公営企業会計	106億3,531万円	4.6%
病院事業会計	69億9,695万円	3.6%
水道事業会計	18億6,136万円	▲0.4%
下水道事業会計	17億7,700万円	15.2%
総合計	436億7,140万円	10.5%

※公営企業会計の予算は、収益的支出額および資本的支出額の合計です。

※1 使用料・手数料等:使用料・手数料、財産収入、寄附金

※2 交付金・譲与税:地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金